

日本漢方生薬ソムリエ協会主催・第4回公開シンポジウム

黄柏シンポジウム

主催：日本漢方生薬ソムリエ協会

日時：2024年7月6日（土）14:00～18:00

会場：TKP金沢新幹線口会議室 6 B

参加費：3,000 円（学生 1,000 円）（協会会員は無料）

締め切り：6月24日（月）定員 50 名（先着順。協会会員優先）

プログラム

1. 奈良時代から現在に至るまでの国産黄柏の歴史

演者：安井廣迪（日本TCM研究所）、笠原良二（東京都薬用植物園）、他

2. 黄柏が国産から中国産に変わり始めたころの状況

演者：小松新平（名誉ソムリエ）

3. オウバクを主原料とした伝統薬

百草・百草丸・ワカ末など伝統薬の紹介

4. 生薬学から見た黄柏

演者：佐々木陽平（金沢大学薬学部）

5. 臨床から見た黄柏 1（オウバク末の使用経験）

演者：矢数芳英（温知堂・矢数医院）

6. 臨床から見た黄柏 2（オウバク含有製剤の紹介）

演者：野上達也（東海大学医学部）

7. オウバクの市場品について（生薬供覧）

演者：宮嶋雅也（枳本天海堂）

— 休憩 —

★特別講演 1：長野県小谷村におけるキハダ栽培の歴史と現況

演者：山口真保呂（長野県安曇野森林づくり企画）

★特別講演 2：愛媛におけるキハダ栽培の試み

演者：山岡傳一郎（松山記念病院）

— 追加発言：農学の立場から（映像参加） —

演者：渡辺均（千葉大学環境健康フィールド科学センター）

8. 黄柏の薬用以外の利用について

① 奈良県産キハダの未利用部位の成分検討と黄柏中の成分推移

演者：西原正和（奈良県薬事研究センター）

② キハダの葉と実の有効活用の検討

演者：立本行江（奈良県産業振興センター・メディカル技術支援科）

③ 幼虫がキハダを食す蝶について（演者海外出張により誌上発表）

演者：指田春喜（金沢蝶類研究所）

※懇親会を18時より同会場で行います。

事務局:黄柏シンポジウム準備委員会 kamposhoyaku-symposium@yahoo.co.jp